



## 岡部昌生フロッタージュプロジェクト成果展、いわき市で開催

6月に今年度の第1期制作を終え、第2期の制作が10月11日から始まる、岡部昌生フロッタージュプロジェクト。第2期の制作にともない、これまでの岡部氏の活動の成果展を県内2か所（福島市、いわき市）で開催いたします。各会場でそれぞれ異なる作品を展示いたしますので、是非2会場ともにご来場いただければと考えております。

本プレスリリースでは「いわき市」での成果展についてご紹介いたします。

美術家・岡部昌生は、フロッタージュ（対象に紙を当てその上から鉛筆、チョークなどで凹凸を擦り取る技法）によって長年国内外の各地に残る歴史の痕跡を擦り取る活動を続けています。

美術家の立場から歴史に真摯に向き合う活動は高い評価を得ており、2007年には第52回ヴェネチアビエンナーレの日本代表を勤めました。東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後の福島で始まったはま・なか・あいづ文化連携プロジェクト岡部昌生フロッタージュプロジェクトは、南相馬市の津波の痕跡をフロッタージュで記録する活動から始まり、被災地の土地の記憶に遡る活動を展開してきました。

活動を通して次第に浮き上がってきた震災の記憶、歴史の断片、今なお課題を抱える原発事故の被害。これらを作品に刻み続けてきたプロジェクトの成果のうち、いわき市会場では、津波によって生じた傷を生々しく残す南相馬市の住宅の基礎や南相馬市の歴史を物語る史跡のフロッタージュ作品を中心に紹介します。

自然の力の巨大さへの畏怖。土地が持つ歴史の厚さ。作品からみなさんは何を感じられるでしょうか。多くの方と感じ、考える場としたいと思います。

本展へ多くの方に足をお運びいただきたく、広報のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当:小林、高橋、馬場



いわきまちなかアートフェスティバル「玄玄天」  
いわきの空から宙を見る 連携事業

## 岡部昌生フロッタージュプロジェクト 成果展 いわき

【開催期間】

10月24日(土)～11月27日(金)

※会期中無休

【観覧時間】

10:00～18:00

【会場】

もりたか屋3F

福島県いわき市平3-34

※お車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用

下さい

【観覧料】

無料

【主催】

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

【協力】

特定非営利活動法人 Wunder ground

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト

詳細はこちら→<http://hamanakaizu.jp/>

MASAO OKABE  
岡部昌生  
フロッタージュ  
プロジェクト  
成果展  
いわき

入場無料

会期 / 2015年  
10月24日(土) ⇒ 11月27日(金)  
観覧時間: 10:00～18:00 会期中無休  
会場 / もりたか屋3F (福島県いわき市平三丁目34)  
\*お車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用ください。

いわきまちなかアートフェスティバル「玄玄天」  
いわきの空から宙を見る 連携事業  
主催: はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会  
協力: 特定非営利活動法人 Wunder ground

平成27年度文化庁地域のかたちを築く・歴史博物館連携事業  
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2015

文化庁

はま ▲ なか ▲ あいづ  
文化連携プロジェクト

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 小林、高橋、馬場